

2022（令和4）年度 認定一級解剖技術者ならびに細胞組織技術者資格試験

※注意事項：

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響によっては試験日時、会場、願書等の書類や手技の録画の提出期限を変更する場合があります。その際、学会ホームページ、ならびにOHASYS（口腔保健協会会員管理システム）にて通知しますので、ご確認ください。

期 日：2022（令和4）年9月17日（土）午前中（予定）

会 場：一般財団法人口腔保健協会302会議室（予定）
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル

提出書類：①願書（所定の様式。代議員の推薦書、在職証明書は別紙添付も可）

②受験資格を有する証明書のコピー

③履歴書

④長3サイズの返信用封筒2枚（84円分の切手を貼付すること）

提出期限：2022（令和4）年6月30日（木）（必着）

受験資格：二級技術者の認定を受けた後、2年以上同種業務に従事した者。認定細胞組織技術者については「衛生検査技師もしくは臨床検査技師の資格を有し、解剖学の教育・研究に用いられる組織標本の作製業務に3年以上従事した者」も受験資格を認める。

試験内容：筆記試験、口頭試問、実地試験を行う。当日は筆記試験（1資格受験60分：2資格受験90分）と口頭試問（1資格受験15分：2資格受験30分）を行う。実地試験は、「当該年度の課題」（下記参照）に関する一連の手技を録画（※）したものを、試験1ヶ月前までに提出していただき、評価を行う。なお口頭試問では提出した録画内容について質問することもある。

※撮影時間が長時間にわたる場合、受験者本人が手技を行っていることがわかるように概ね20～30分以内に編集したものを、編集前の元データと併せて提出すること。

【2022（令和4）年度認定一級技術者試験 当該年度の課題】

※各々の資格につき、必修2課題、選択1課題、合わせて3課題とする。撮影した内容をCDまたはDVDに録画し、8月19日（金）必着として提出すること。詳細は7月以降、受験者各位へ通知します。

認定一級解剖技術者：

【必修課題】

1. 「注入動脈の剖出手技」
2. 「注入動脈への注入手技」

【選択課題】下記3課題のうち1課題を選択する。

※「汚染域と非汚染域の区別」 ※「術者の感染防護」 ※「注入器具の選定」

認定一級細胞組織技術者：

【必修課題】

1. 「パラフィンブロックからの切片薄切法」
2. 「ヘマトキシリン・エオジン染色法：染色液の作製も含める」

【選択課題】下記3課題のうち1課題を選択する。

※「固定液作製法」 ※「脱水の基本手技」 ※「包埋の基本手技：パラフィン包埋」

お問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル

一般財団法人口腔保健協会内 一般社団法人日本解剖学会

TEL. 03-3947-8891 FAX. 03-3947-8341 e-mail: gakkai24@kokuhoken.or.jp

※願書、ならびに2000（平成12）年度以降の代表的な過去問、受験のしおりは学会ホームページよりダウンロード可能です。